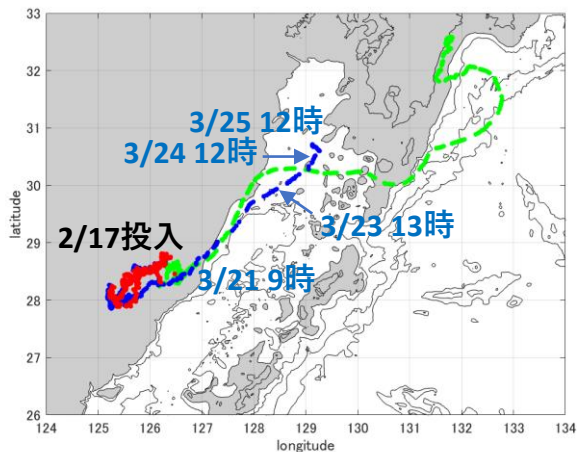


漂流ブイ観測速報(16)

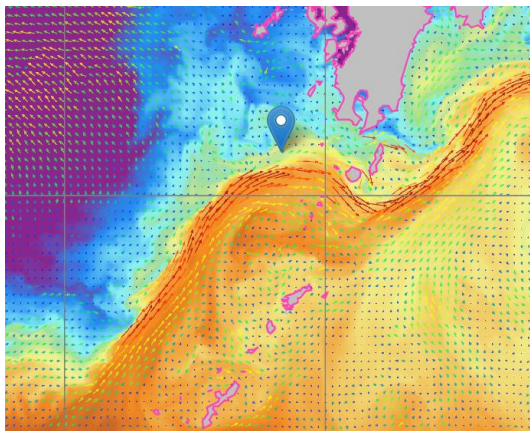
鹿児島大学水産学部水圏科学分野

2023年3月25日



漂流経路図:

3個のペットボトル型ブイの漂流軌跡(3月25日13時現在)。注意:漂流ブイが人工衛星を捕捉できない時間帯があるので軌跡は途切れ途切れになる。



ひまわりモニタ海中天気予報の海面水温画像(3月25日12時):

図中のマークは25日現在の青色●の漂流ブイの位置を示す。矢印は海面の流速と流向を示す。

提供:海洋研究開発機構・宇宙航空研究開発機構

データ表:ブイ投入から3/25 12時までのブイの位置情報.時刻(世界時)、経度、緯度.

ID:227198 (●)		
日本時間3月25日12時更新		
世界時(日本時+9時間)	経度(度)	緯度(度)
2023/2/17 2:11	126.48	28.46
2023/3/7 2:53	125.66	27.97
2023/3/20 0:04	125.77	28.44
2023/3/23 3:00	126.34	28.75
2023/3/24 2:48	126.26	28.81
2023/3/25 2:38	126.25	28.74

鹿大水産学部練習船「かごしま丸」により、2月17日、海上を漂流中の3個の流れ藻にペットボトル型ブイを取り付けて、その漂流経路を人工衛星ARGOSシステムで追跡しています。

解説:現在、1個のブイ(青色)が、奄美大島西方で黒潮縁辺の強流帯に取り込まれ、トカラ海峡へ向けて移動しています。このブイは、トカラ海峡西方の黒潮流路の峯に達したところで、小さな渦に巻き込まれ停滞している模様です(左下図参照)。この渦は小規模であることを考えると、青色ブイは黒潮から大きく離れることはなく、今後も屋久島西方の水溫前線付近(左下図参照)を漂流すると予想されます(流れ藻集団の規模は不明)。

人工衛星の海面水温画像から判断すると、青色ブイは大陸棚縁辺部で、比較的規模な黒潮前線波動に伴う低気圧性渦(反時計回り渦)によって黒潮に取り込まれたと考えられます。今後、赤色ブイも、青色ブイよりやや北東で、この低気圧性渦によって黒潮に取り込まれて屋久島西方海域に近づく可能性があります(しかし、赤色ブイがなかなか動き出さないので、この確率は下がりつつあります)。

青色ブイについては、海況予報モデル(DREAMS_E)による38時間先の漂流予報は行いません。

次回の速報は3/27(月)昼頃の予定です。

ID:227201 (●)		
日本時間3月25日12時更新		
世界時(日本時+9時間)	経度(度)	緯度(度)
2023/2/17 1:31	126.16	28.33
2023/3/7 2:52	125.29	27.98
2023/3/20 0:06	126.79	28.52
2023/3/23 3:06	128.44	29.93
2023/3/24 2:56	129.19	30.52
2023/3/25 2:38	129.13	30.71

ID:227202 (●)		
日本時間3月25日12時更新		
世界時(日本時+9時間)	経度(度)	緯度(度)
2023/2/17 8:07	126.18	28.24
2023/3/2 2:56	127.29	28.86
2023/3/7 2:58	130.05	30.24
2023/3/20 0:03	131.80	32.53
2023/3/23 3:00	131.73	32.48
2023/3/24 7:29	131.72	32.49
2023/3/25 2:34	131.72	32.49